

## 夫婦円満の陰にはペットの話題あり！

～ペットと夫婦に関する調査～

アイペット損害保険株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：山村鉄平）は、昨年引き続き、犬・猫（以下「ペット」）飼育者で既婚者の 526 名を対象に、ペットと夫婦に関するアンケート調査を実施しました。

11 月 22 日は「いい夫婦の日」でもありますが、「わんわん、にゃんにゃんの日」でもあります。今年も「いい夫婦の日」にかけて、同様の調査を実施した結果、ペットを飼い始めてから夫婦間に「会話や話題が増えた」という回答が全体の 71.1%に上るといった結果となりました。

その一方で、「共通の話題がない」ことや「価値観や性格の不一致」という理由から日本の夫婦の 2.9 組に 1 組が離婚をするということも言われております（2015 年厚生労働省のデータより）。本年度も、ペットが夫婦間に与える重要な役割に関して調査を実施しておりますので、ご一読ください。

### 【調査結果のまとめ】

夫婦円満と答えている人の場合、夫婦間で「ペット」の話題が占める割合は、20%以上となっています。このことから、ペットは夫婦の共通する関心事となっていることが伺えます。

また、ペットの世話に関しては夫婦間に認識のズレが見られます。「共同」でペットを世話していると思う夫に対して、妻は「自分がやっている」という意識が強いことが分かりました。その一方で、役割分担の影響からか、ペットは妻（女性側）になついていると感じている傾向があることも判明しています。認識のズレを理解したうえで、夫は妻を労い、感謝の気持ちを伝えることも、時には必要なかもしれません。

さらに、ペットは、夫婦仲がぎくしゃくしたときの仲直りのためのきっかけとなることが分かりました。妻側よりも夫側の方がその傾向が強いという結果が出た背景から、夫にとって、妻と仲直りをするためにもペットは重要な存在と言えるのかもしれません。

---

### 【報道関係者のお問合せ先】

アイペット損害保険株式会社 事業戦略室 広報担当 福岡

【TEL】03-6867-1330（直通）

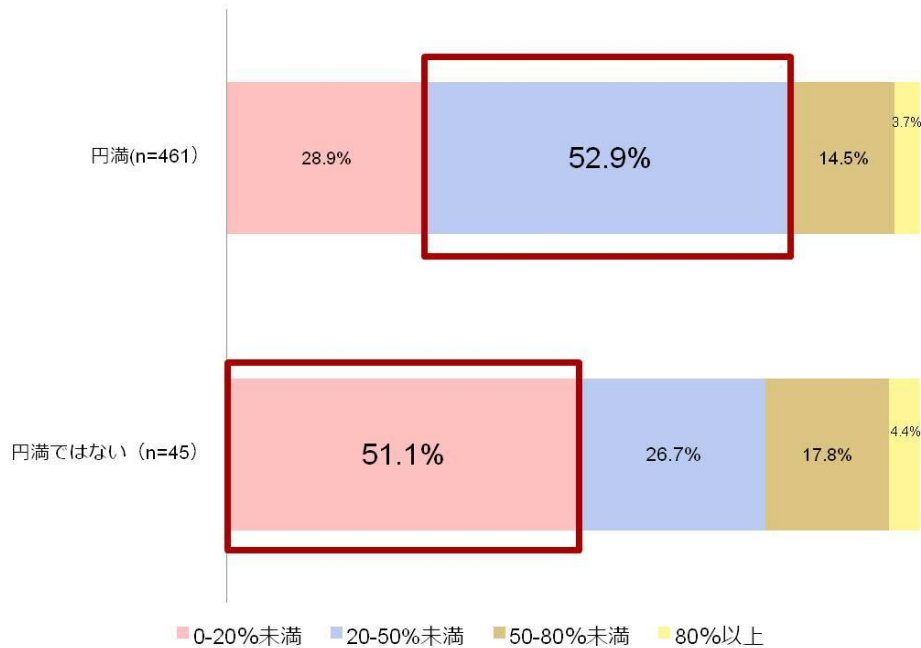
【E-mail】pr@ipet-ins.com

① **夫婦円満の場合、夫婦間の会話でペットの話題が占める割合は20%以上**

円満・円満ではないという回答別に、夫婦間の会話でペットの話題が占める割合を聞いてみました。円満の場合、20-50%未満が全体の約53%となっています。

円満ではない場合、約半数の51.1%がペットの話題が0~20%未満の割合となっています。

【Q1.夫婦間の会話でペットの話題が占める割合はどれくらいですか？】

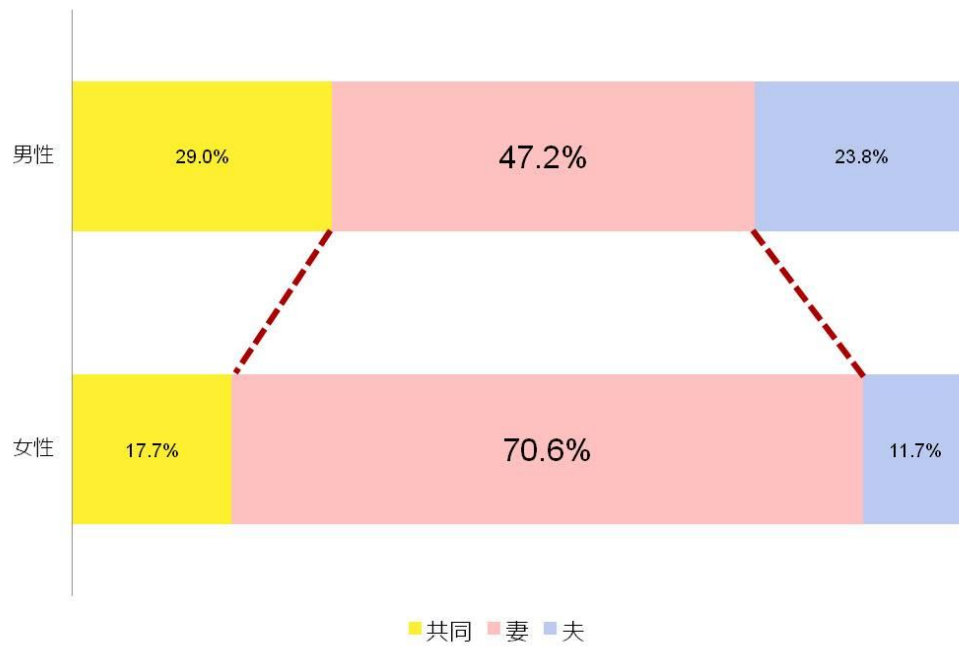


(データ1：n=506、単一回答、「円満か分からない」という回答を除く)

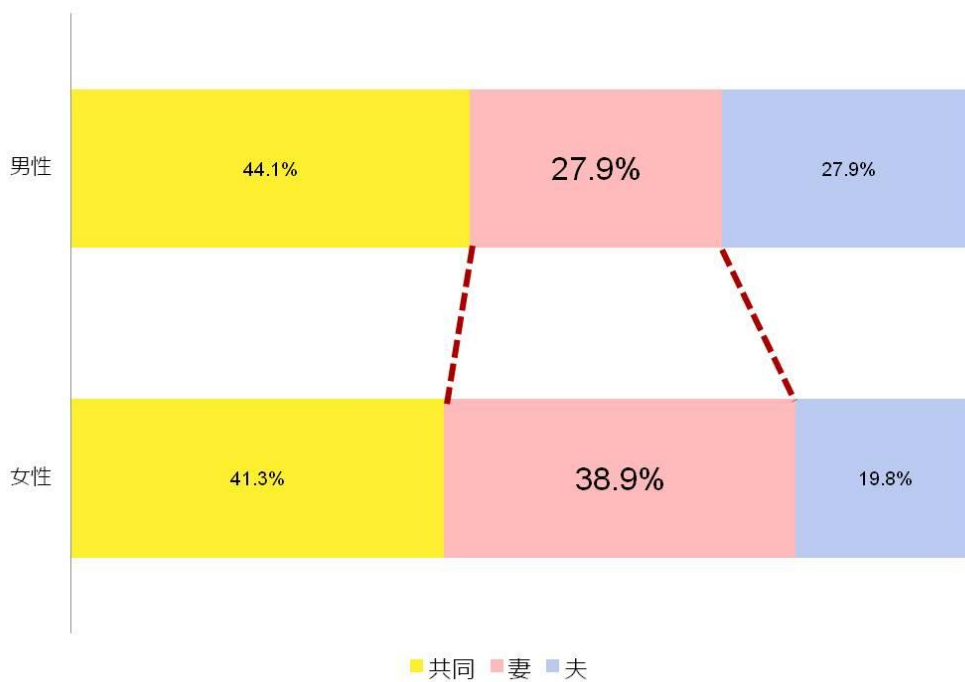
② **ペットの世話に関して夫婦間に最大23%の認識のズレが見られる**

回答者にペットの世話の役割分担について聞きました。全体の傾向として、男性は「共同」だと思っている一方、女性は「妻＝自分がやっている」と思っている傾向があることが分かりました。特に男女間の認識で最も差の開いた項目は「食事」、最も差の少ない項目は「遊び（※散歩以外）」となりました。男性は、自身が思う以上にペットの世話に積極的に参加したり、女性を労ったりすることが夫婦円満に繋がるのかもしれない。

【Q2.ペットの食事は夫婦のどちらが担当していますか？】



【Q3. ペットの遊びは夫婦のどちらが担当していますか？】



※「遊び」には、散歩を含めない

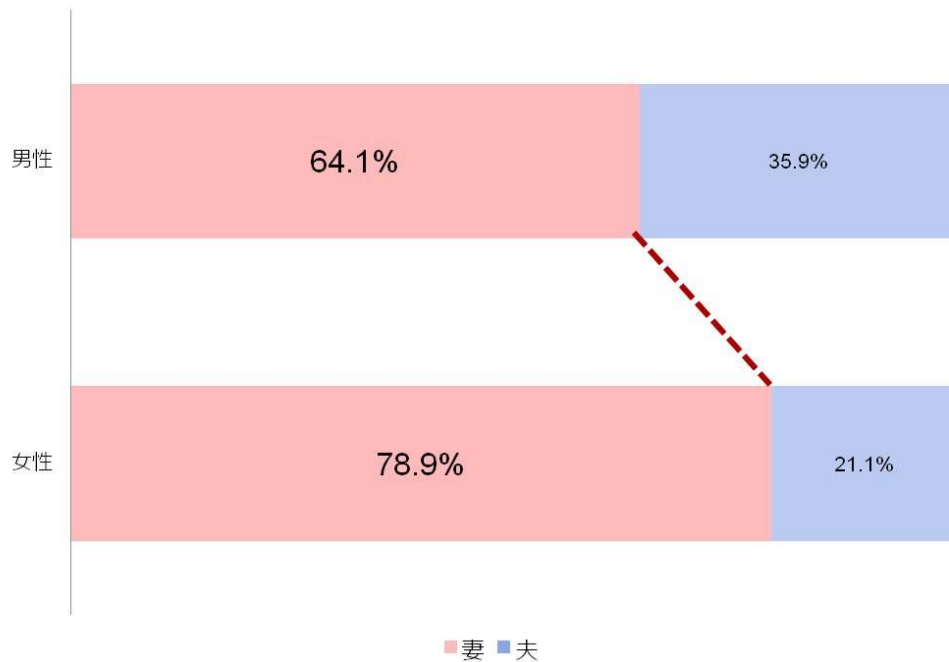
(データ2 : n=500、単一回答、「その他」という回答を除く)

(データ3 : n=494、単一回答、「その他」という回答を除く)

③ **女性の約8割が「ペットは妻側 = 自分になついている」と感じている**

ペットになついているのはどちら側か、について男女別に見てみました。役割分担の意識が関係しているのか、男女ともに、ペットは妻側になついていると感じていることが分かりました。特に、女性は8割近くが自身になついていると感じていることが判明しています。

【Q4.ペットになついているのは、夫婦のどちらですか？】

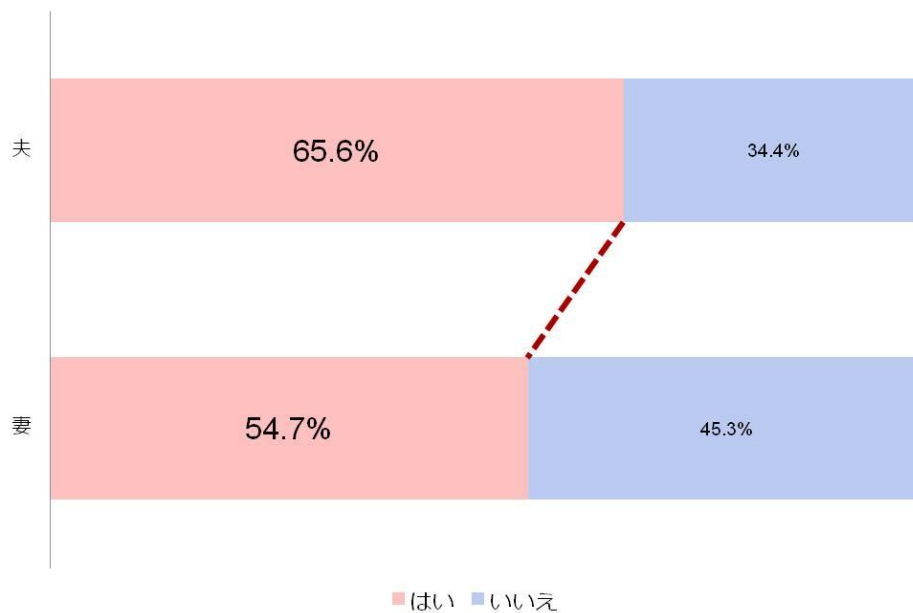


(データ4：n=441、単一回答、「分からない」「その他」という回答を除く)

④ **ペットがきっかけとなって妻と仲直りした夫は66%**

ペットの存在によって喧嘩の仲直りのきっかけとなった経験を持つ人が半数以上いることが分かります。特に夫が妻より10%上回ることから、夫にとって、ペットは妻と仲直りするためにも必要な存在と言えるのかもしれません。

【Q5.ペットが夫婦喧嘩の仲直りのきっかけとなったことはありますか？】



(データ5：n=324、単一回答、「分からない」「喧嘩をしたことがない」と回答した人を除く)

以下、ペットの存在がきっかけとなって仲直りをしたエピソードを抜粋しています。喧嘩中に気を引いたり、普段とは違う様子をペットが見せたりすることから、ペットは全てお見通しなのかもしれません。

#### 【エピソード】

- ・喧嘩をきっかけに会話しなかったのを、犬が察して、2人の間に入って、「どうしたの?」という感じの目で見上げてくる様子を見て、話すようになり仲直りした (41歳・女性)
- ・喧嘩をした際、飼っている猫が不安そうに夫婦間を歩き来しているのを見て、お互い怒りが和らいで自然に仲直りした。(35歳・男性)
- ・夫婦の間に割って入り、「もうやめてちょうだい」と言うように立ち上がって邪魔をする (66歳・女性)

アイペット損保では、ペット保険の提供とともに、ペットの健康促進や QOL の向上、ペット産業の発展に寄与するため、オウンドメディアやイベント等を通じて積極的な情報発信に取り組んでまいります。

#### 【調査概要】

調査対象：全国の犬・猫飼育者で既婚者 526 名 調査期間：2016 年 10 月 12 日

調査方法：インターネットによるアンケート（複数回答可）を実施

#### 【報道関係者のお問合せ先】

アイペット損害保険株式会社 事業戦略室 広報担当:福岡 【TEL】03-6867-1330 (直通)